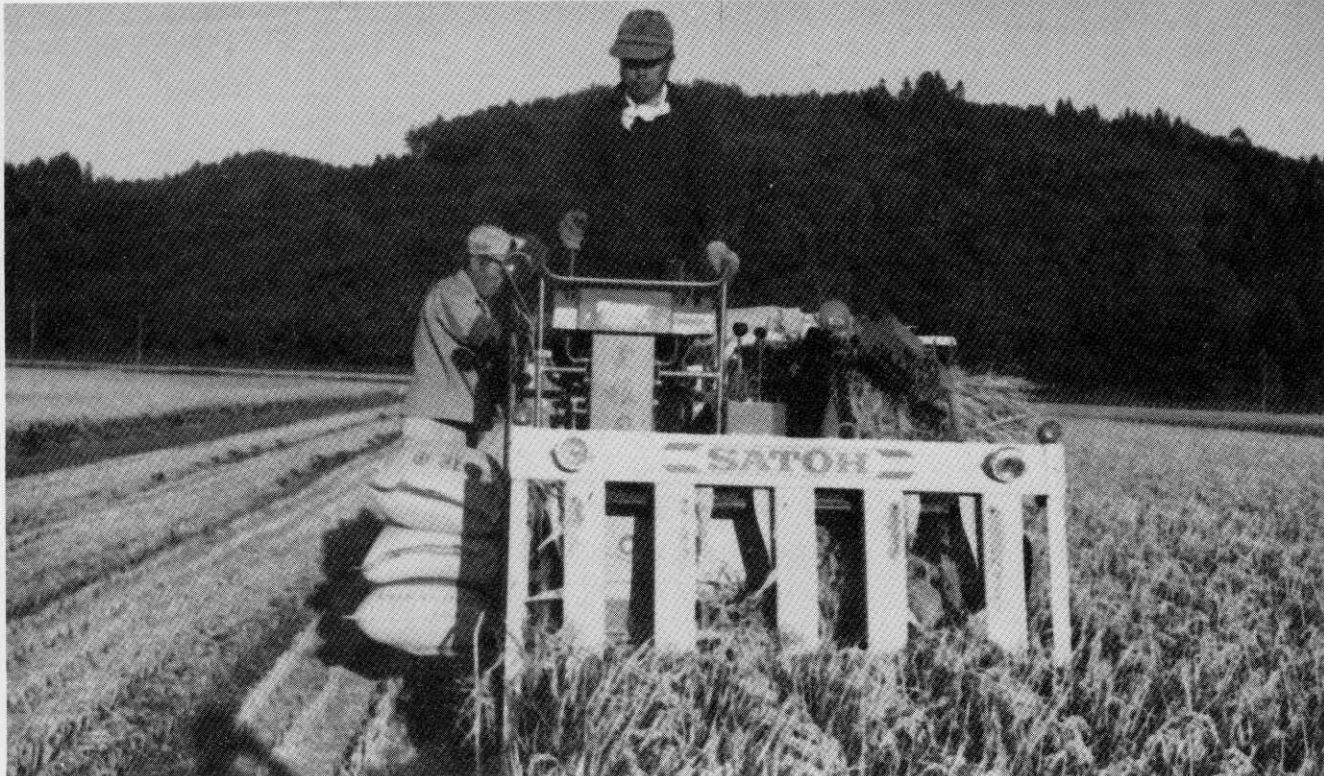


人口(男).....4,760人
(女).....5,061人
計.....9,821人
9月中の転入.....14人
転出.....17人
世帯数.....2,280世帯
(9月末日 住民登録人口調)

発行日・54.10.11(2,700)
発行・秋田県合川町
編集・企画室
電話 018678-2111



実りの秋。収穫の季節を迎えました。圃場整備された田んぼを大型コンバインが忙しく走り回ります。一本の穂もムダにしまいと、落ち穂を拾うおばあちゃんも真剣。今年の作柄は、ほぼ平年並み。昨年ほどの豊作まではいかないものの、まずまずの出来秋です。稲刈りは、例年より半月ほど遅れきみ。今月いっぱいかかりそうです。(二日・東根田内地内)



10月

9月議会

四千三百七十万円余の黒字
五十三年度決算を認定

町議会九月定例会は、十八日に招集され、補正予算など十一議案を可決。五十三年度決算を認定しました。五十三年度一般会計では、四千三百七十万円余りの黒字。五十二年度からの繰り越し分を差し引いた単年度収支でも千五百五十万円余りの黒字で、引き続き、健全財政が保たれていると、報告されました。しかし、国民健康保険特別会計では、単年度収支で二千円近い赤字という大ピンチ。町長は、行政報告で、医療費の節約など、町民への協力を呼びかけました。

町長の行政報告から

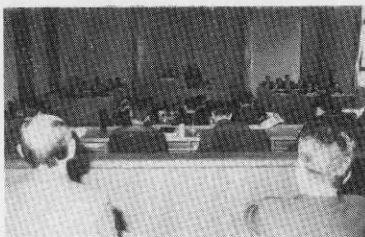
国保財政に協力を

担となっています。したがって保険料も、県内十指以内の高い負担になっています。「正しい受診」「医療費の軽減」「国民健康保険の趣旨徹底」と保健婦を中心とした保健活動に、町民の協力を切望します。

一般質問が

課題は流通機構

町農政の今後のありかたは？減反強化の動きにどう対応するか？



町長が行政報告

合川営林署廃止問題については、八月三十・三十一日、議会代表者とともに、関係機関に陳情。現在のところ廃止対象はリストアップしていないこと、事業所等の統廃合は、営林署の統廃合につながるものではないとの回答を受け、さらに営林署および事業所の存続を強く要望してきました。小阿仁川からの分水を復元する要望は、県・当町、上小阿仁村による小阿仁川環境調査合同委員会を設置しています。八月二十七日の委員会で、県では、始めの公式に分水による影響を認め「上流部にダムを建設が適当」と報告。今後の対策を見守りたいと思います。国保会計は、五十三年度およそ五百萬円の黒字決算しかし、これは前年度からの繰越金千五百万円近くを含んでおり、一年間では、約二千萬円の赤字。老人医療費の入院外一人当り診療費が五十五・八%増、一件当り金額が四十三・八%増など、国保財政に大きな負

七月、八月の集中豪雨の被害に、どのように対応するか？

国の査定もあるが、関係

文部省の方針、他産業の賃金などを考えて、待遇を改善していきたい。給食内容

大野台にあらわれた雄の月の輪は、百十五キ

農民、農協、町がそれぞれの役割を認識して、協力をし、収益のあがる転作の確立に全力をあげる。最大の課題は、流通機構の整備だと思ふ。県の農業試験研究施設の充実も動きかけていく。土地条件の整備など、生産基盤の整備をすすめるが、現在の以上の減反はムリだと考えている。

現在、三百二十名ほどの出稼ぎが予想され、三十%の人は、就労前に健康診断を受けて行っている。また職場で健康診断を受けている人もいよう。健康診断を含めて、全員が健康管理に気を配るよう、本人、職場に協力を呼びかける。

出稼ぎ者の健康管理対策は？

二連銃で四発を発射。四発とも命中していた。射手は、八幡の村岡春蔵さんである。その距離十メートル。一発目は肩に、二発目は仁王立ちとなり、三発目は、なお前進して射手をめぐって突進してきた。

野獣のどうもうな生命

人間にとつて、自己の生命をかけた緊張の一瞬こそ現代人が喪(うしな)ったもの。村岡さんと同じ

(義)

町長日記から

野獣のどうもうな生命

(義)

問題点も多いが、基本的な考えとしては、収入役出納室で現金を扱わないで、指定金融機関を決める方式が正しいと思う。

健康づくり、体力づくりを、どのように継続させていくか？

自分の健康は自分で守る。ということが基本で、町では、そういう人をふやし、定着させる努力をしていく。

健康台帳を整備し、本人と町が一日で健康状態をつかめる体制ができつつある。

金融機関の町内進出により、町金庫を設置する考えはないか？

可決された議案

昭和三十三年度決算

(決算記事二二面)

〔議案第四十六(五十一号)〕
消防団・議員・特別職・職員の旅費を改正する条例
グリーン車による旅費の廃止など、旅費の条例を全面的に改正しました。

〔議案第五十二号〕
鷹巣阿仁広域市町村圏組合規約の一部変更の協議
広域組合で鷹巣町に陸上競技場を新設することにもなう規約の変更

〔議案第五十三号〕
工事請負契約の締結
○摩当沢川災害復旧工事
○金額 三千五百八十万円
○請負契約者 佐藤庫組
(議案第五十四号)
教育委員会委員の任命
任期満了による教育委員に、近藤徳太郎氏(李倍二六十二歳)を再任すること

災害復旧費に
八千六百七十万円
(議案第五十五、五十六号)
今回の補正では、一億三千七百二十二万三千円を追加一般会計予算総額は、二十四億九千九百九十九万九千円になりました。追加された主な内容は次のとおりです。
(十万円未満四捨五入)
▽老人居室整備資金貸付金 七百八十万円
▽農道整備工事費四百八十万円
▽道路台帳整備委託費 三百五十万円
▽西小学校スキー場用地購入費五百二十万円
▽町民体育館敷地整備費六百三十万円
▽土木施設災害復旧費四千九百九十九万円
▽農 施設災害復旧費三千六百八十万円、等。

補正予算のなかみ

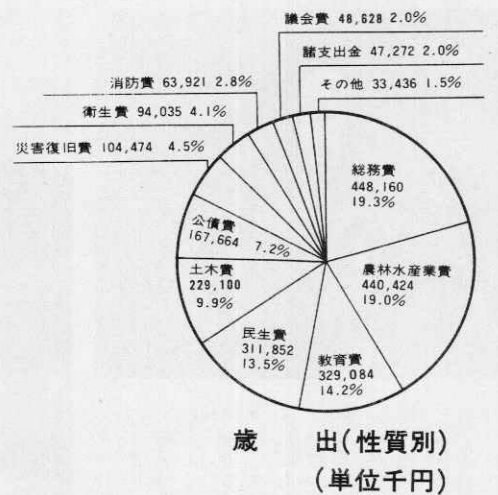
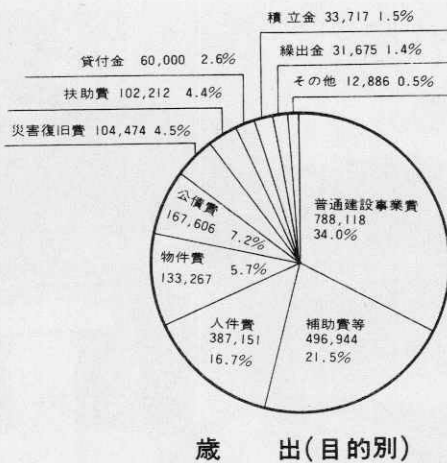
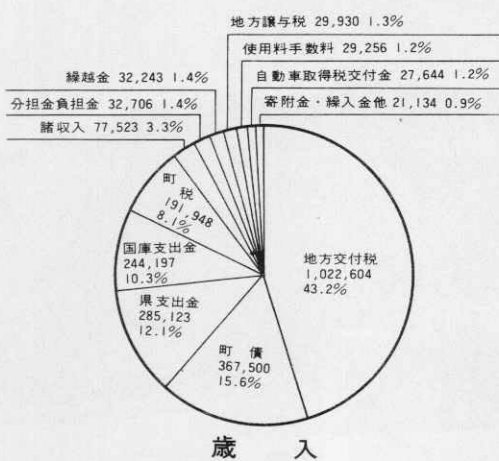
文化祭ポスター
産業文化祭
決定する

佐藤哲郎さん(川井)小笠原貞一さん(増沢)また記念講演(三好京三氏)写真)の演題は「ふるさとに生きる」と決まりました。三好氏は、若手県での教員生活の体験をもとに、「子育てごっこ」で直木賞受賞。農村を舞台に幅広く活動を展開しています。ご期待ください。

あなたも出品
あなたも参加
産業文化祭

図表で見る53年度決算

ひき続いて健全財政を維持



一般会計	国民健康保険特別会計	合川診療所特別会計	簡易水道施設事業特別会計
52年度からの繰越金 32,243,046円	52年度からの繰越金 24,944,119円	52年度からの繰越金 7,180,970円	53年度中収入額・支出額とも38,583,339円
53年度中の収入額 2,329,565,216円	53年度中の収入額 365,810,294円	53年度中の収入額 136,033,694円	簡易水道施設建設事業特別会計
53年度中の支出額 2,318,050,497円	53年度中の支出額 385,803,281円	53年度中の支出額 135,521,789円	53年度中収入額・支出額とも185,976,872円
54年度への繰越金 43,757,765円	54年度への繰越金 4,951,132円	54年度への繰越金 7,692,875円	53年度決算額 は繰越金の比較

監査報告から

歳出では成人病予防、総合モデル事業、農道林道、中小企業振興、テニスコート、東地区公民館などについての支出が増えている。いずれも、予算の主旨にそって、市民生活の安定向上、教育環境の整備、福祉の増進等に積極的な配慮がうかがわれる。

本町は、財源に恵まれず、国庫支出金、起債への依存度が大きく、財源の確保には、最善の努力と工夫をこらし、効率的な行政の運営を要する。歳入歳出の差引額は、前年度実績から考えると、取支の均衡に留意され、適正な運営が行われたと認められる。

歳出の義務的性格(人件費、物件費、公債費)は年々増加しており、適切な計画と細心の配慮が必要と思われる。各種団体に補助交付団体が多く、その財政効率を高める指導も必要と思われる。国民健康保険会計では、福祉医療の拡大や利用率の増加、医療費の改訂等によって、給付額が前年度より七千八百六十六万三千円増えている。単年度で千九百九十九万三千円の赤字で、このような状況は、被保険者の多大な負担となる。国庫負担金の増額に期待するとともに、今後の対策と指導を要する。

合川診療所は、前年に比較し、診療収入利用件数とも増え、さらに健康管理に万全を期するよう要する。簡易水道は各地区とも適切な運営が行われており、その実績は住民から高く評価されている。さらに入率の向上を要する。

走り続けて 90歳

弥栄 金 為助 さん



健康のもとは 一日三食の牛乳

まもなく九十一歳を迎えられる金為助さん。今年も、滋賀高原タートルマラソンで、十キロを完走。特別金杯を受賞され「合川のマラソンおじさん」として全国に紹介されました。

金さんは、住所は森吉町にありますが、現在は弥栄に住んでおられ、毎日、大野台を走り続けています。森吉町長・県議会議員などを歴任され、まだまだ若々しい金さんにかがって見ました。

走り始めたのは何歳のころからでしょうか。金 八十五歳のとき、山中湖で国際高齢者マラソンがあって、それに参加しようとして走り始めました。それ以前は、何かスポーツを……

健康のもとは 一日三食の牛乳

金 公職のときから、大野台、森吉山峡の開発のために歩き回って参りました。当時は、自転車はせいたく品の時代ですから……

マラソンを終えて、金メダルを胸に元氣いっぱい。

マラソンを長続きさせるコツを教えてください。金 息のしかたがコツです。私は三つ吸って、二つ吐く、三つ吸って二つ吐くをくり返します。健康管理面では、現在、どれぐらい走っておられますか。金 毎朝六キロから十キロ。歌(短歌)を考えたりしながら走っています。くよくよしないように配ごとを持たない。心配ごとをいいますね。金さんの日課は、マラソンと鶏、犬の世話それに、お孫さんを送り迎えすること、お孫さんの話をする時に、目が一段と輝くようでした。

全国大会の参加は何回目ですか。金 山中湖大会から毎年参加しています。その他、北海道で開かれる大会にも出ています。今年の滋賀高原大会は千四百メートル以上の高地で、息が苦しかったが、完走できました。

夫婦生活五十年、金婚式の仲間入りをした佐藤一郎さん(川井)が、「まだまだ、町のためにがんばろう」とあいさつ。みんなの長寿と、町の平和な発展を誓い、全員で若さいっぱいの方歳を三唱しました。

雪田・山岡さん

杉山田・伊藤さん

下杉・後藤さん

木戸石・畠山さん

笑顔ー長生き

五つは、若返りました

ことぶき大会・敬老会

三木田・三浦さん

増沢・杉淵さん

八幡岳・藤田さん

木戸石・佐藤さん

ことぶき大会(九月六日・合川中学校)では、今年も、開会にさきだつてグラウンド二周の「歩こう行進」後を追って歩き出した来賓や関係者が、息を切らしてすわり込むほどの健脚ぶりでした。

笑顔いっぱい、唄ありお酒ありの楽しい大会を終わって、参加者はますます若返ったようす。来年の再会を約束し合っていました。

ことぶき大会は数えて十と題して、大熱演。場内の六回目「福祉の町合川は、大爆笑の中で、戦前・戦後人口当りの長寿者が、郡内を生き抜いてきた歩みを、でも最も多い長生きの町」と、北秋田福祉事務所の長官と接してほしい」とお話し。町長は「自分のこと、励ました。

戦中の苦労話では「本当を自分でする努力が、自分の幸せにつながる」と、あね、よえてねがったなあ」と合つちの声も入り、なつ会場いっぱい祝福を受けました。

また、お年寄りを大切にしている模範的な家庭として三唱しました。

夫婦生活五十年、金婚式の仲間入りをした佐藤一郎さん(川井)が、「まだまだ、町のためにがんばろう」とあいさつ。みんなの長寿と、町の平和な発展を誓い、全員で若さいっぱいの方歳を三唱しました。

長寿横綱山岡 リワさん(九十七歳・雪田)を先頭に、みんな元氣いっぱい。全員に敬老座ぶとなどの祝い品が贈られたほか、七十五歳五十六名には敬老祝状、八十歳四十八名には鳩杖が贈られました。

七十五歳になって、敬老の仲間入りをした佐藤一郎さん(川井)が、「まだまだ、町のためにがんばろう」とあいさつ。みんなの長寿と、町の平和な発展を誓い、全員で若さいっぱいの方歳を三唱しました。

て、村上ハナさん(鎌沢)藤島リサさん(木戸石)に賞詞状が贈られました。

町敬老会は、十三日、合川中学校体育館で開かれました。参加対象の七十五歳のお年寄りは四百五十二名そのうち三百二十名が参加しました。



鼓笛隊も出動

南小学校交通安全推進隊

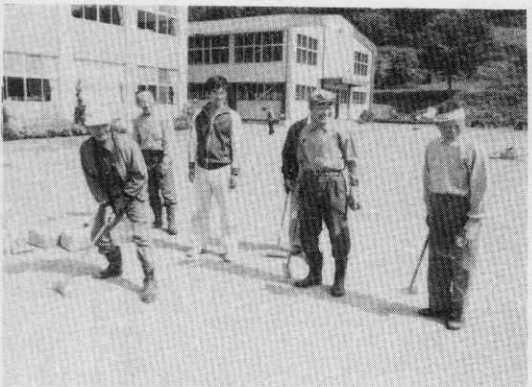
秋の交通安全運動期間中の26日、南小学校交通安全推進隊では、トランペット鼓笛隊が安全運転を呼びかけました。
「ドレミの歌」や「史上最大の作戦」など、おなじみの演奏に合わせて、運転者への手紙を朗読。みんなで作った折り鶴を手渡ししました。「ドライバーのみなさんいねむり運転、スピードの出しすぎ、飲酒運転防止に気を配ってください。」——かわいい呼びかけに、運転者も、安全運転の誓いを新たにしました。



娘さん(昔の)大ハッスル

梅の木学級運動会

第3回梅の木学級運動会は、9月9日、合中グラウンドで開かれました。40代～60代までの娘さんが、4地区対抗でハッスル。「走るよりも、笑うほうがコヤガッタ!!」。楽しい1日をすごしました。
競技種目も、娘さんらしい珍種目ばかりです。1枚のスカートで2人ではいて走る「アベックリレー」。おこしを広げて、洗たくゲーム「晴れたり曇ったり」。千昌夫スタイルで「北国の春」。「仕事も遊びも、男どもには負けねや!!」と元気いっぱいでした。

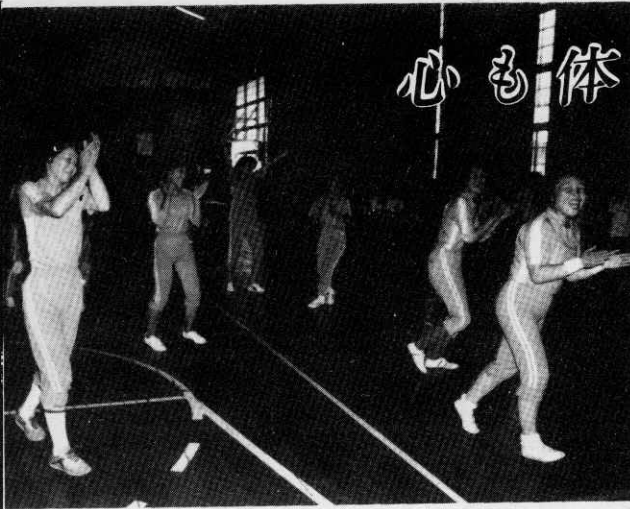


ことぶき大クラブ・孫と語る会

南小学校へ移動教室

南地区のことぶきクラブ・大学では、21日、南小学校で移動教室を開きました。午前の部は、奉仕活動と体力づくり。校舎のまわりの草取り作業、ゲートボールや輪投げゲームで汗を流しました。
午後の部は、児童と交流会。ことぶき大学生は、昔のくらしぶりを児童に紹介。「昔の農業」「学校周辺のこと」では「信じられないようだ」という感想も聞かれました。
続いて、児童の発表会と歌唱練習。児童と一っしょになった勉強風景でした。

みんなと公民館の広場



心も体もすこやかに

体育の秋・本番

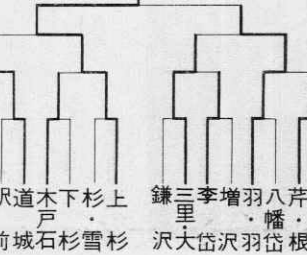
バレーボール道城四連勝

三百六十歳ソフトは駅前

第十一回婦人バレーボール大会は、九月九日、合中体育館で開かれました。参加チームは七チーム。子供つれや、男性軍の大声援もあって、場内、われるような歓声が飛び交いました。各チームとも、選手層が厚くなっており、コート陣も充実して、試合は接戦に

予選Aブロック	駅前2	0	鎌沢
駅前2	1	上杉	
駅前2	1	上杉	
予選Bブロック	道城2	0	根田西東
下杉2	0	三木田	
道城2	1	下杉	
三木田2	0	根田	
道城2	0	三木田	
下杉2	0	根田	
準決勝	下杉2	0	駅前
道城2	0	鎌沢	
決勝	道城2	0	下杉
優勝	道城	四年連続	
準優勝	下杉	三年連続	
三位	駅前	四年連続	
鎌沢	二回目		
敢闘賞	三木田	二年連続	
奨励賞	根田西東(初)		

同じ九日、合中球場と広域合球球場では、部落対抗三百六十歳ソフトボール大会が開かれました。選手資格は四十歳以上であること。日頃、監督業や評論活動?に専念しがちな年代。見るの好きだけども、やるのはどうも。という人にも野球を楽しんでもらおうと、第一回の開会になりました。
「ここは、オラどの甲子園。来年からも毎年来る。」と、広域合球球場を踏んだ一選手の感想。「参加チームを増やして、選手人口も増やしたい。」関係者も張り切っています。
成績は次のとおりです。
一回戦
上杉21—9 芹沢
準決勝
上杉48—0 新田目
駅前7—2 増沢
駅前6—3 上杉



部落対抗 ナイター

上杉が制覇

個人戦
優勝 松橋勝利(三里)
準優勝 加藤和彦(鎌沢)
三位 米倉善彦(上杉)
中学校の部
優勝 山田伸久(木戸石)
準優勝 成田和人(駅前)
三位 鈴木 治(鎌沢)
一般の部
優勝 松橋清久(三里)
準優勝 工藤義孝(上杉)
三位 工藤一也(上杉)



走ってますか? 百キロコンペ

無念!土俵ぎわのうっちゃりならず!!
全日本交通安全協会、交通安全活動に、特別の功勞があつた人に贈る交通安全賞「緑十字銅章」に、金田耕二郎氏(西根田四十六歳)が選ばれました。
金田氏は、昭和三十九年「なつとうの会」では、一六日の県統計大会で表彰されることになりました。

交通安全功労者

二氏に緑十字銅賞
九月四日、県福祉大会で交通安全活動に、特別の功勞があつた人に贈る交通安全賞「緑十字銅章」に、金田耕二郎氏(西根田四十六歳)が選ばれました。

感謝状

町共同募金会
統計知事表彰は 藤島・松橋両氏
藤島佐久栄氏(美栄)松橋田加生氏(三里)は、各種統計調査活動に調査員として協力。正確で迅速な調査活動が認められ、十月十日の県統計大会で表彰されることになりました。

善意の寄付

善意の寄付 (敬称略)
〔香典返しにかえて〕
高橋正太 正司長男 下杉
桜田智和子 五郎二女 東根田
桜田晋作 博長男 東根田
杉淵徳子 博長女 東根田
後藤政人 隆二男 増沢
桜井友子 鉄男二女 下杉
石戸真由美 実二女 川井
鈴木隆美 昭悦長男 福田
奇藤咲子 行雄長女 福田
近藤 忍 年春長男 新田目
●おくやみ申し上げます。
桜田リン 幸一郎母 駅前
平川カネ 己吉妻 木戸石
工藤ソノ 義雄母 東根田
菊池嘉三郎 本人 李岱 摩当

慶弔だより

〇おめでとうございます。
高橋正太 正司長男 下杉
桜田智和子 五郎二女 東根田
桜田晋作 博長男 東根田
杉淵徳子 博長女 東根田
後藤政人 隆二男 増沢
桜井友子 鉄男二女 下杉
石戸真由美 実二女 川井
鈴木隆美 昭悦長男 福田
奇藤咲子 行雄長女 福田
近藤 忍 年春長男 新田目
●おくやみ申し上げます。
桜田リン 幸一郎母 駅前
平川カネ 己吉妻 木戸石
工藤ソノ 義雄母 東根田
菊池嘉三郎 本人 李岱 摩当

わたしは、小学生のころからマンガばかり読んでいた。当然、勉強の方はお留守になる。元はといえば、父が買っよう。
父の怒りが爆発した。わたしは、三児の父として、決して頭ごなしにしかることはしません。まず、子供のいい分を聞いてやる、その上で、よくないところがあればしかる。親と子も、一人の人間と人間の関係として考えなくては……。
しかられた子供が、向上心を持てるように——これが、わたしのしかり方です。
(このシリーズ 終)

わたしは、小学生のころからマンガばかり読んでいた。当然、勉強の方はお留守になる。元はといえば、父が買っよう。
父の怒りが爆発した。わたしは、三児の父として、決して頭ごなしにしかることはしません。まず、子供のいい分を聞いてやる、その上で、よくないところがあればしかる。親と子も、一人の人間と人間の関係として考えなくては……。
しかられた子供が、向上心を持てるように——これが、わたしのしかり方です。
(このシリーズ 終)